

## 中医協「2010年度第10回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」 調整係数を廃止、病院群ごとに基礎係数を設定

2011/1/13

診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（分科会長：西岡清・横浜市立みなと赤十字病院名誉院長）は1月13日、調整係数を2012年度改定時に廃止し、施設特性に基づく複数の病院群ごとに「基礎係数」を設定する方針を了承した。



前回までの分科会において、調整係数廃止後も、調整係数が持つ「円滑な病院運営のための医療資源投入量のばらつきへの対応」「DPC/PDPS参加へのインセンティブ」——の役割を維持すべきとの方向性で一致していた。

この日事務局は、DPC/PDPSに参加する病院を複数の病院群に分類し、病院群ごとに基礎係数を設定する案を提案。施設特性を反映した病院群ごとに係数を一本化することで、医療資源投入量のばらつきを減らす考えを示した。基礎係数は直近の診療実績を反映させるために、改定前2年間の出来高実績データに基づく病院群ごとの平均値より算出。ただし、包括評価に「一定幅」を上乗せするとした。

病院群の例として事務局が「特定機能病院」を挙げたため、委員からは「特定機能病院の中でも調整係数に開きがあり、一本化は混乱を招く」との意見もあったが、事務局案は概ね委員の了承を得た。病院群の分類数や分類方法など具体的な内容は、次回会合以降、事務局がシミュレーションを提示して検討を行う。

この日了承した方針については、近日開催予定の中医協総会において西岡分科会長が報告を行う予定。

### ■機能評価係数Ⅱにはインセンティブの役割を

調整係数が持つ「DPC/PDPS参加へのインセンティブ」の役割については、機能評価係数Ⅱで評価していく方針だ。

事務局は機能評価係数Ⅰ・Ⅱの趣旨を整理して提示。機能評価係数Ⅰは現行の役割のまま、人員配置や医療機関の機能など出来高評価の診療報酬点数を基に設定する。機能評価係数Ⅱは、診療実績や医療の質的向上等を評価するインセンティブの役割を持ち、病院群ごとの特性に応じた項目の新設も含めて今後検討を行う。既存項目の内容や配分の見直しについては、年度内に検討する予定だ。

次回のDPC評価分科会の開催予定は2月9日。